



榎戸の丘

第1号

令和6年3月1日

校歌

作詞 校歌制作委員会
作曲 大友 良英

一

空の青さに 陽の光
榎戸の丘 一瞬の風
力漲り 舞う砂けむり
現在を生きる これからの人
創ろう未来 つなごう心
いつの日か 遙かな夢を ほんとの空に

二

白く聳える 故郷の
安達太良山の 季節の雲
掌見つめ 歯を食いしばり
現在を生きる これからの人
創ろう未来 つなごう心
いつの日か 明日を探して ほんとの空に

三

瞳に映る 煌めきは
阿武隈川の 悠久の色
その身に宿る 手業の实り
現在を生きる これからの人
創ろう未来 つなごう心
いつの日か 希望を胸に ほんとの空に

四

睡蓮の花 微笑んで
霞が池に 青春の影
まっすぐな道 どこまでも往き
現在を生きる これからの人
創ろう未来 つなごう心
いつの日か 生きた証を ほんとの空に

福島県立二本松実業高等学校

発行所 福島県立二本松実業高等学校同窓会
〒964-0937
福島県二本松市榎戸1丁目58-2
TEL 0243-23-0960
FAX 0243-22-7388
発行者 山川博徳
印刷 キング印刷株式会社
発行部数 1,000部

同窓会会長挨拶／総会報告	2
学校長挨拶／新会員の言葉	3
部活動紹介	4
進路状況	6
同窓生コラムリレー	7
編集後記	8

同窓会会長挨拶



山川 博徳

プロフィール

- ◆本宮市出身、現在は二本松市在住
- ◆福島県立二本松工業高等学校 土木科卒業（第十六期生）
- ◆日本大学 法学部 政治経済学科卒業
- ◆現在、菅野建設工業株式会社 取締役副社長
- ◆趣味（ウォーキング、読書、書道、社寺、城巡り）

啓蟄の候、同窓会会員の皆様には、日頃よりご支援・ご指導を賜り、心より御礼を申し上げます。

ご承知の通り、本校は昨年の四月に開校し、もう少して一年を迎えようとしています。そしてこの度、二本松実業高等学校として最初の卒業生を送り出すことになり、同窓会としても新たな仲間が増えることになります。

改めまして新社会人となる卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今後は、一万六千名を超える本校同窓生の先輩方が社会の各方面で応援をさせていただきます。

さて、本校は「創造性豊かで地域産業の中核となる人材の育成」を目標として誕生いたしました。それに伴いまして、同窓会も、今まで学んだ専門領域に限らず、様々な分野の垣根を越えて成長し合える、融和的な卒業生同士の「縁」をつくり、新しい母校と相互に親睦を深め、母校の発展に少しでも寄与出来ればと、

いち早く設立をさせて頂き、先生方や同窓会役員各位が中心となって、日々同窓会活動に励んで頂いております。

そして、これからも在校生や卒業生の皆さんに対し、少しでもお役に立てる様、創立精神を継承しながらも、新時代に即して改革を恐れない「不易流行」の精神と、旧二本松藩士への戒めとして刻まれている「戒石銘」の規範と精神をしつかりと胸に刻み、本校同窓会活動を通じて地域社会の発展に貢献していく所存でございます。

結びに、福島県立二本松実業高等学校の更なる発展を祈念するとともに同窓会会員各位の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。

総会報告

令和五年度より福島県立二本松工業高校と安達東高校が統合になり二本松実業高校として開校するにあたり、先だって四月一日（土）アーバンホテル二本松にて、二本松実業高校同窓会設立総会、令和五年度総会、設立記念式典を開催し新たな同窓会としてスタートを切りました。

設立総会議事は、議事録署名人選出、設立趣意書、同窓会会則、役員選出、役員委任状の交付について満場一致で可決となりました。

同日令和五年度総会議事は令和五年度事業計画、予算案、各委員会任命について、満場一致で可決されました。

同窓会設立記念式典では、二本松実業高校校長、二本松市長、市議会議長、県議会議員、他多数ご臨席いただき盛大に開催することができました。

次年度の総会につきましても対面により実施したいと考えておりますので、同窓生の皆様のご出席をよろしくお願いいたします。

令和5年度 同窓会事業計画

月	事業	期 日	会場
令和5年4月	二本松実業同窓会設立総会	4月1日（土）	アーバンホテル二本松
	二本松実業同窓会令和5年度総会		
	二本松実業同窓会設立記念式典		
	開校式、第1回入学式	4月10日（月）	二本松市民会館
9月	第1回三役・事務局合同会議	9月29日（金）	二本松文化センター
10月	第1回会報委員会	10月31日（火）	二本松文化センター
11月	第2回会報委員会	11月22日（水）	二本松文化センター
12月	第3回会報委員会（拡大役員会含）	12月22日（金）	酒菜・そば厨房 咲くら
令和6年1月	同窓会会則説明 クラス幹事推薦依頼	1月下旬	
	第4回会報委員会		
	個人情報保護説明・同意書配布	1月下旬	
2月	第2回同窓会三役・事務局合同会議	2月2日（金）	二本松文化センター
	第5回会報委員会	2月中旬	
	第1回同窓会入会式	2月29日（木）	各校舎
3月	第1回卒業証書授与式 同窓会会報第1号発行	3月1日（金）	各校舎

※ 激励金贈呈式 随時

学校長挨拶



佐藤 正道

プロフィール

- 会津美里町出身、専門は工業（化学・セラミック）。趣味はアコースティックギター、作詞・作曲、読書、会津工業高校、会津工業本郷分校（定時制）、郡山北工業高校、喜多方桐桜高校（教頭）、二本松工業高校（教頭）に勤務し、令和三年四月に本校校長に昇任し、現在に至る。

同窓会の皆様には、日頃より物心両面にわたり多大な御支援と御指導を賜り、心より感謝申し上げます。

お陰様で、本日ここに第一回卒業式を迎えることができ、本校舎八十二名、安達東校舎二十八名の卒業生を送り出します。実社会に出て、何よりも頼りになり支えになるのは同窓生の皆様の存在です。新社会人となる後輩たちに、温かい御支援をお願いいたします。

さて、本校は令和五年四月十日、地域とともに歩んできた二本松工業高校と安達東高校が統合し、職業教育推進校として開校しました。工業三学科（機械システム科、情報システム科、都市システム科）と県内唯一の家庭学科（生活文化科）を併置した専門高校です。学科連携や地域連携による協働的・探究的・実践的な学びを重視した教育活動に取り組んでいます。二本松・安達地区の工業科・家庭科教育の拠点校として、創造性豊かで地域産業の中核となる人材（財は宝を意味します）の育成に努めています。

四月からは、新しい校訓・校章・校旗・校歌となり（HPにアップしてあります）、さらに新入生は制服も新しくなりました。生徒たちが中心となって、新たな伝統と歴史を作り上げ、自慢できる学校にしていきたいと思います。本校舎・安達東校舎と

みんなと過ごした三年間



生徒会長 佐々木 倅汰

私たちは、令和三年四月、期待と不安を胸に、初めて二本松工業高校の門をくぐりました。入学当時何度も言われた「三年間はあつという間」という一言を信じていることができました。しかし、今振り返ると、あまりの短さに、驚きと寂しさを感じています。一方で私は、とても濃い三年間だったと思っています。部活動、課題研究、修学旅行、文化祭、怒られたあの日、褒められたあの日、思い出そうとすると、きりがなくいろいろな記憶がよみがえってきます。特に課題研究は、三年間の集大成であり、考える力、実行する力、創造する力の成長が実感できました。

この三年間で、私たち三年生は心身ともに成長しました。是非、後輩の皆さんも、昨日の自分よりレベルアップしたといえるように、日々の授業や実習、部活動と向き合ってほしいと思います。三年間はあつという間で、一日一日を大切に、これからの学校生活を送ってください。

最後に毎日私たちを見守ってくれた家族、厳しさと愛を与えてくださった先生方、三年間ありがとうございました。そして、一緒に過ごしてくれた三年生の皆、三年間私と一緒に学んでくれて、本当にありがとう。

同窓会入会に際しての抱負



生徒会長 新藤 由依

私たち安達東校舎の卒業生二十八名は、二本松実業高等学校同窓会第一期生として仲間入りをさせていただきました。私たちは、皆さまのご支援をいただきながら、日頃の学習をはじめ、様々な活動に取り組むことができました。

この三年間を振り返ると、長いようであつという間の三年間でした。新型コロナウイルス感染症の影響により、入学したときからマスクをとしての学校生活でした。様々な制限があり、思い描いていた学校生活ではありませんでした。しかし、一人一人が行事を盛り上げようと試行錯誤し、周囲への感謝の気持ちを忘れずに行動したことで、たくさんの思い出をつくることができました。高校生活最後の小文化祭では、「青春・あおはる」のテーマのもと、クラス全員で団結し制作したムービーや劇の発表等、仲間達の個性あふれる有志発表を客席の方々に届けることができました。一人一人が主役となり、笑顔あふれる最高の思い出になりました。切磋琢磨しながら、共に学び、笑い、支えあってきた仲間がいたからこそ、忘れられない高校生活を送ることができたと思います。

まもなく、私たちは、慣れ親しんだ校舎を後にし、それぞれの道へと歩み始めます。来年度をもって安達東校舎は閉校舎となりますが、地域に対する感謝の気持ちを忘れず、今後、同窓会の活動を通して、地域とのつながりや母校への思いを一層強くしていきたいと思っています。同窓会の先輩の皆さま、どうか私たちを温かく、そしてご指導ください。

部活動成績 (本校舎)

卓球部
●令和五年度福島県高等学校体育大会
卓球競技
男子学校対抗
二回戦 ○3対2 東日本昌平
三回戦 ○3対2 小高産業技術
準々決勝 ○0対3 帝京安積
●令和五年度福島県総合スポーツ大会
卓球競技
少年男子団体
一回戦 ○3対2 平工業
二回戦 ×0対3 帝京安積(ベスト16)
少年男子個人
恩田瑞己 3回戦進出
根本吳来 2回戦進出
●令和五年度福島県高等学校新人体育大会
卓球競技
男子学校対抗
二回戦 ○3対0 平工業
三回戦 ○3対2 相馬総合
準々決勝 ○3対0 橘
準決勝 ×0対3 福島東陵
東北大会代表決定戦 ×0対3 福島成蹊
男子シングルス
丸子広 4回戦進出(ベスト32)
根本吳来 4回戦進出(ベスト32)
全国選抜男子2部シングルス第1位 根本吳来

サッカー部
●第一〇二回全国高校サッカー選手権福島県大会
一回戦 対あさか開成 6対1〇
二回戦 対平工業 0対6
●令和五年度福島県高等学校新人体育大会県大会
一回戦 対磐城 0対0PK 3対2〇
二回戦 対福島東 0対6

柔道部
●令和五年度第六十九回福島県高等学校体育大会
柔道競技
73kg級 佐藤煌哉 二回戦敗退
●令和五年度第七十六回
福島県総合スポーツ大会柔道競技
副将の部 高橋要 二回戦敗退
●令和五年度第六十三回福島県高等学校新人体育大会
男子団体戦二回戦敗退 対光南 0対5
66kg級 水田大和 ベスト8
70kg級 遊佐友輝 ベスト8
100kg級 高橋要 ベスト8
●四十六回全国高等学校柔道選手権大会福島県大会
66kg級 水田大和 ベスト8

剣道部
●令和五年度福島県高等学校
新人体育大会県大会
男子団体二回戦敗退

カヌー部
●第六十九回福島県高等学校体育大会
カヌー競技
男子C-1 第1位 高橋昊
男子C-1 第2位 鈴木志苑
男子C-2 第1位 高橋昊・鈴木志苑
●令和五年度第二十六回東北高等学校
カヌー・スプリント選手権大会
男子C-1 第2位 高橋昊
男子C-1 B 決勝進出 鈴木志苑
男子C-1 第2位 高橋昊・鈴木志苑
●第五十回東北総合体育大会カヌー競技
男子C-1 第3位 高橋昊
男子C-2 第3位 鈴木志苑・青木聡生(安達高校)
●令和五年度全国高等学校総合体育大会
カヌー競技大会
男子C-1 準決勝進出 高橋昊
男子C-2 準決勝進出 高橋昊・鈴木志苑
●特別国民体育大会カヌー競技
男子C-1 準決勝進出 高橋昊
●令和五年度第三十一回福島県高等学校
新人体育大会カヌー選手権大会
男子C-1 第2位 丹野颯
男子C-1 第3位 國分優
●令和五年度第十四回東北高等学校
新人カヌー・スプリント選手権大会
男子C-1 準決勝進出 丹野颯
男子C-1 準決勝進出 國分優

バドミントン部
●令和五年度第五十九回福島県高等学校
体育大会バドミントン競技
男子学校対抗戦(ベスト8)
一回戦 3対2 郡山
二回戦 3対2 磐城
3回戦 0対3 清陵情報
男子ダブルス(ベスト32)
菅本真矢・佐川光、遠藤歩夢・梅原優真
●令和五年度福島県総合スポーツ大会
バドミントン競技
男子ダブルス(ベスト32)
高橋朋希・三浦司樹
●令和五年度第六十回福島県高等学校
新人体育大会バドミントン競技
男子ダブルス(ベスト32)
高橋朋希・三浦司樹
佐川光、梅原優真

野球部
●夏の高校野球県大会
ベスト16

陸上部
●第六十九回福島県高等学校体育大会
陸上競技大会
400mH 1分16秒84 予選6着 西内大和
100mH 1分15秒19 予選8着 西内大和
100mH 1分15秒19 予選8着 菅野こころ
●第七十八回東北高等学校陸上競技大会
砲丸投 14m34 2位 渡邊拓実
ハンマー投 43m92 8位 渡邊拓実
鉛球投 12m95 2位 渡邊拓実
●令和五年度福島県総合スポーツ大会
陸上競技大会
砲丸投 14m78 予選8位 渡邊拓実
●第七十八回福島県総合スポーツ大会
陸上競技大会
一般砲丸投 12m95 2位 渡邊拓実
400mH 1分14秒87 予選3着 菅野こころ
●第五十回東北総合体育大会陸上競技
一般砲丸投 13m16 6位 渡邊拓実
●第六十三回福島県高等学校新人体育大会
陸上競技
砲丸投 13m75 1位 渡邊拓実
ハンマー投 49m62 (大会新記録) 渡邊拓実
鉛球投 14m56 2位 渡邊拓実
●第二十八回東北高等学校
新人陸上競技選手権大会
砲丸投 14m89 2位 渡邊拓実
ハンマー投 40m36 12位 渡邊拓実
●第四十二回福島県高等学校総合文化祭
美術・工芸部門
美術 遊佐葉月、安齋美幸、中村優音、濱崎優空
●令和五年度西会津国際芸術村公募展
佳作 濱崎優空
入選 遊佐葉月
●令和五年度福島県総合美術展
入選 濱崎優空

部活動紹介



サッカー部



野球部



柔道部



剣道部



バスケットボール部



陸上部



弓道部



卓球部



バドミントン部



手話部



吹奏楽部



文芸部



ソフトテニス部



農業クラブ



カヌー部



コンピュータ部



美術部



情報処理愛好会



カヌー部・陸上部への激励金交付式



ものづくり部(旋盤)



ものづくり部(溶接)



ものづくり部(測量)

心を込めて かたちづくり

菅野建設工業株式会社

代表取締役 菅野 泰助

本社／福島県本宮市長屋字征矢田6
支店／福島・郡山・二本松・田村・川俣
TEL 0243-44-2120(代) FAX 0243-44-4102



ホームページ QR

〈ISO9001 認証〉
地域社会に貢献する



Kawana

川名建設工業株式会社

代表取締役 橋谷田 邦 男

本社／本宮市長宮字田中47-2 ☎(0243)33-2755
田村支店／田村郡三春町字担橋2丁目1-13 ☎(0247)62-7864

●あらゆる症状の改善と病気の予防に!!
〔治し系整体〕自律神経を整える、免疫療法 予約制

腰痛全般、脊柱管狭窄症、座骨痛、股関節痛、膝痛、
肩痛(五十肩他)、首痛(頸椎ヘルニア他)他々

整体療術師 大内 正 勝

福島県二本松市戸沢字大六天9 携帯 090-1491-0904

E-Tec
知事許可(股-21)第28473号

株式会社 イーテック

代表取締役 橋本 栄 治

☑工事事務所
〒969-1403 福島県二本松市渋川字原新田1-9
TEL 0243-24-1995 FAX 0243-24-1996



健康経営優良法人

二本松実業高等学校、開校おめでとうございます。県立高校の改革により統合・再編し新たな時の流れを迎えた松工も創立から六十一年目、自身も還暦を迎えた今、歩んで来た人生を振り返り学生時代、部活動、就職、結婚、子育て、仕事、退職後と家族のライフプラン、様々な出来事や将来に向けた想いを馳せております。

一番に感じていることは、スポーツと共に成長してきたことです。小・中学校での野球、高校から始めたソフトテニス、神奈川県工業高校（土木科）職員となり、仕事と大学（夜学）を両立しソフトテニス部顧問と野球部監督を経験した十二年間、Ｕターン後は本宮市でソフトテニススポーツ少年団と中学校部活動外部コーチとして指導を継続、自らも各種大会に出場し生涯スポーツとして、ソフトテニスと野球の二刀流を楽しんでいることです。スポーツを通じて経験した人との出会い、感動、自信や悔しさ、頑張ったことは人生の支えとなり財産でもあります。

また、松工ソフトテニス部ＯＢ会事務局の一員として、広報紙「にわたま」の作成と総会を毎年お盆の十五日に開催し、第五十二回を数え卒業生と現役生徒が城山コートに集い夏のひと時を楽しんでおります。今年から松実ＯＢ会と名称を改め開催します。今年からソフトテニス部卒業生の皆さんの参加をお待ちしております。

近年は少子高齢化が進む中、気候変動や自然災害、東日本大震災からの復興、コロナ禍への不安、更に物価高騰の影響もあり、これまでにない困難に直面しているほか、教育現場では中学校休日部活動の地域移行に向けた検討が進められるなど、私を取り巻く生活環境も課題や悩みの絶えない毎日ですが、スポー



二本松市役所
遠藤 吉嗣

「還暦を迎えた今、想う人生観」

同窓生コラムリリース

ツに夢中になっている時は全てを忘れることができます。皆さんも日頃の健康とストレス解消の手段の一つとして、スポーツを取り入れリフレッシュしてみませんか。

終わりに、私のスポーツ活動を支えていただいている家族、皆様に感謝を申し上げます。今後も、地域で子供達の指導に携わりながら「やりたい事をやる。できる人生を送りたい。」還暦を迎えた今こそ、アクティブに行きたいと思っております。大切なのは何事も変わらずやり続けることです。皆さんも自分らしい生き方を探してはいかがでしょうか。

プロフィール

- ◇昭和五十六年度 土木科卒業生（第十七期生）
- ◇平成六年 神奈川県よりＵターン
- ◇二本松市役所に奉職
- ◇出身地 本宮市（白沢）
- ◇趣味 ソフトテニス、野球、旅行

『農業は好きですか？』



福岡明成高校
実習教諭 斎藤 誠

「農業は好きですか？」と問われた時、皆さんはどう答えるでしょうか。もしかしたら答えに困るかもしれません。私なら間違いない「大好きです」と答えます。

私の家は、二本松市で水稲ときゅうり栽培を中心とした農家です。小さい頃から、手伝いをすることで身近に農業をする環境が整っていたため、一番の思い出は、収穫したばかりのきゅうりやトマトを丸かじりした時の味です。そのおいしさは、今でも忘れることができます。

高校入学時には、迷わず安達東高校産業技術科を選びました。その理由として、高度な農業技術を学びたい思ったからです。１年生

一九九八年度、本校を卒業し、早くも二十五年目の社会人生活となります。私が働くＩＨＩは、創業一七〇年を迎え、



(株)ＩＨＩ物流産業システム
渡邊 喜春

繋がりの中での成長

では、播種から栽培・収穫まで自分自身で栽培管理をしなければいけない農業基礎という授業がありました。おいしい野菜を栽培するには天候だけでなく肥料や病害虫など気を付けることが多いことを学び、農業の奥深さを知ることができました。

農業について学んでいくうちに農業が楽しくなってきた、いつの間にかもつと農業の楽しさを多くの人に知ってもらいたいと思うようになりました。担任の橋本先生に相談したところ、農業高校の実習助手があるよと勧めていただきました。実習助手になるため、高校卒業後は農業短期大学校に進学し、勉強を頑張ることができました。

現在、福島県立福島明成高校の実習教諭として草花を担当しています。福島明成高校の草花部門では、福島駅前花時計や、年に２回行われる草花販売会が有名です。特にシクラメン栽培は大変で、生徒には、葉の向きを同じ方向に向けないと、綺麗な花にならないよと指導し、草花販売会で買っていただけのお客様の笑顔を想像しながら生徒と実習に取り組んでいます。

今年度より安達東高校が二本松工業高校と統合され、二本松実業高校になりました。一つ心残りがあるとすれば安達東高校に勤めて母校に恩返しができなかったことです。

安達東高校はなくなりますが、高校生活で楽しかった思い出は、私の心の中で残り続けます。二本松実業高校の皆さんも高校生活を楽しくてください。そして、二本松実業の益々のご発展、ご活躍を願っています。

一九九八年度、本校を卒業し、早くも二十五年目の社会人生活となります。私が働くＩＨＩは、創業一七〇年を迎え、

令和５年度 進路状況

令和 6 年 1 月 30 日現在

学科・クラス	生徒数		就 職				進 学			未定
	男子	女子	県 内	県 外	公務員	縁故自営	大 学	短期大学	専修学校等	
機械システム科 1 組	27		18	3	1	0	1	1	3	0
	26	1								
情報システム科 2 組	31		23	0	0	1	3	0	3	1
	20	11								
都市システム科 3 組	24		13	2	1	1	1	0	6	0
	23	1								
総合学科 1 組	12		7	0	0	0	0	0	5	0
	6	6								
総合学科 2 組	16		14	0	0	1	0	0	1	0
	7	9								
合 計	110		75	5	2	3	5	1	18	1
	82	28								
	計（％）									

二本松実業高等学校 開校までの両校の沿革

二本松工業高等学校	安達東高等学校
S37.4 福島県立二本松工業高等学校開校 安達高等学校の校舎を仮校舎とし機械科 1 学級、電気科 1 学級で発足	S23.4 福島県立安達高等学校に小浜・大平・針道・石井・旭・渋川分校設置（農業科、家政科）
S38.4 機械科 1 学級増、電子科 1 学級、土木科 1 学級新設	S27.4 渋川・石井・大平の分校を統合し、大平分校改称
S38.7 本校舎第 1 期工事竣工、仮校舎より移転	S28.4 小浜分校農業科を廃し、普通科を置く
S39.3 本校舎第 2 期工事竣工、及び産振施設竣工	S33.4 小浜、旭分校を統合し、岩代分校と改称
S39.8 校歌を制定 （草野心平作詞、小山清茂作曲）	S48.5 県立安達高等学校岩代分校、大平分校、針道分校を安達高等学校より分離 安達東高等学校とし、岩代校舎、大平校舎、針道校舎として設立
S42.4 電子科に女子 9 名入学	S52.4 全日制課程に転換
S44.4 工業デザイン科を新設	S55.3 岩代校舎、新校舎へ移転
S46.11 創立 1 0 周年記念式典を挙行	S56.3 大平校舎、針道校舎を岩代新校舎に移転統合
S56.11 創立 2 0 周年記念式典を挙行	S57.11 創立 1 0 周年並びに統合校舎落成記念式典挙行
H4.10 創立 3 0 周年記念式典を挙行	H3.4 新制服制定
H14.11 創立 4 0 周年記念式典を挙行	H4.10 創立 2 0 周年記念式典挙行
H16.4 機械システム科 2 クラス、情報システム科 2 クラス、都市システム科 1 クラスに学科改編	H9.4 総合学科設置・第 1 期生入学
H24.11 創立 5 0 周年記念式典を挙行	H14.11 創立 3 0 周年記念式典挙行
R4.11 創立 6 0 周年記念式典を挙行	R4.10 創立 5 0 周年記念式典挙行
R5.3 県立二本松工業高等学校開校式	R5.3 福島県立安達東高等学校開校式
R5.4.10 福島県立 二本松実業高等学校 開校式	
R5.4.1 福島県立 二本松実業高等学校同窓会 設立	

就職 【県内】	
福島キヤノン (株)	アズビル金門エナジープロダクツ (株)白沢工場
(株)田口型範二本松工場	川名建設工業 (株)
(株)日東紡テクノ	(有)中西測量設計
トヨタ工機 (株)	(株)きんでん福島営業所
福島プラスチック (株)	(株)一条工務店
(株)エイチワン郡山工場	(株)エフォート
(株)INステンレス加工センター	(株)フジ技建
AGCエレクトロニクス	(株)小野工業所
福島サンケン (株)	マルナカ (株)
(株)IH物流産業システム	(株)野地組
NITTOKU (株)	三立土建 (株)
福島トヨベツ (株)	(株)日東福島工場
北芝電機 (株)	石橋建設工業 (株)
(株)アマダオートメーションシステムズ	(株)マルサン
トヨタ工機 (株)	KDDIプリシード株式会社
(株)デンソー福島	株式会社 サンライト
NOKエラストマー (株)東北事業所	株式会社聚楽 飯坂ホテルジュラク
(株)小松製作所生産本部郡山工場	株式会社リブレ リブレ松川 高齢者複合施設
(株)きんでん福島営業所 (縁故)	シマダヤ東北 株式会社 郡山工場
(一財)大原記念財団	信越化学工業株式会社
三光化成 (株)福島工場	株式会社 玉嶋屋
ミノシマ (株)	月星
二本松NOK (株)	日の丸サンス株式会社 安達太良スカイレストラン
(株)川島製作所安達太良工場	福島タカラ電気工業株式会社 松川工場
(株)東北村田製作所郡山事業所	有限会社 ホテル光雲閣
東邦ゴム工業 (株)	酪王協同乳業 株式会社
京セラ (株)福島郡山工場	共伸プラスチック株式会社
(株)日本デジタル研究所	大七酒造 株式会社
(株)高電	三栄食品株式会社
(株)SCREEN SPEクォーツ	福島グラビア 株式会社
(株)福島芝浦電子	福島障害者職業センター
(株)ヤクルト本社福島工場	

就職 【県外】	
(株)SUBARU群馬製作所	(株)HOKUBU
トヨタ自動車東日本 (株)	東日本旅客鉄道 (株)
プレス工業 (株)	

公務員	
自衛隊 (一般曹候補生○、自衛官候補生○)	
国家公務員一般職 (土木)	

大学・短大	
福井工業大学	仙台大学
日本工業大学	福島学院大学
日本大学	

専修学校等	
福島県立テクノアカデミー郡山職業能力開発校	福島看護専門学校
福島県立テクノアカデミー会津職業能力開発校	仙台リゾート＆スポーツ専門学校
国際アート＆デザイン大学校	郡山ヘアメイクカレッジ 美容科
Wiz国際情報工科大学校	創作美術学校 ファインアート科
東京総合美容専門学校	国際医療看護福祉大学校 看護学科
国際ビューティ＆フード大学校	国際情報工科大学校 情報システム工学科



電気を元気にする会社

北芝電機株式会社

<https://www.kitashiba.co.jp>



北芝松工会 同窓生一同

本社・工場 福島市松川町字天王原9番地



◎令和六年度同窓会 総会について

五月中旬を予定しておりますが、詳細が決まり次第次第実業高校ホームページの同窓会メニューにて、周知させていただきますので、多くの皆様には是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

◎ホームページ 開設について

現在、実業高校ホームページ内に同窓会メニューがございますが、令和八年度を目安に本会報誌同等に同窓会の状況や活動報告などの情報を同窓生の皆様と共有し、より良い同窓会活動に繋げていきたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

【協賛金のお願ひについて】

同窓会皆様の相互補助、母校賛助、後輩育成支援等への熱意実現のため、「協賛金」を年次お願いしてまいりたいと存じます。つきましては、同窓会の皆様並びに有志各位におかれましては、出費多端の折から甚だ恐縮に存じますが、協賛金のご趣旨をご理解いただき、ご芳志を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

【振込先】大東銀行 二本松支店
普通口座 3012171
二本松実業高校同窓会 代表 山川博徳

◎会報名「榎戸の丘」について

同窓会役員にて慎重かつ厳正なる協議により決定させていただきました。また、表紙の会報名については、山川博徳会長に書いていただいた一筆になります。

編集後記

令和五年四月より、両校の統合に伴い同窓会も統合し、新たなスタートをきりました。それに合わせてまして初刊会報を発刊する事となり、会報委員会を立上げ、老若男女十名で作成にあたりました。作成にあたりましては、事務局の先生方、同窓会員、協賛いただきました各企業様、その他原稿等ご提供をいただきました関係者の皆様方に深く御礼申し上げます。今後、会報につきまして紙媒体から電子媒体に移行させていただく予定となっておりますので、当校のホームページに掲載予定でございますので、どうぞご期待下さい。

会報委員長 鈴木 朝裕
副委員長 茂木 安久
委員 三浦 亮
渡邊 喜春
大内 正勝
菅野 健太
鈴木 大智
三浦 優華
井上 博行
事務局 小林 龍一
安達 朱里
大内 香
三浦 龍一

次世代を創造する技術と信頼で社会資本整備に貢献します。



◇測量全般
◇土木設計
◇3次元計測
◇インフラ点検
◇地質土質調査
◇開発許可申請



株式会社 東昇コンサルタント

代表取締役 鈴木 朝裕

本社 〒964-0905 福島県二本松市松岡199番地10
TEL(0243)24-7111 FAX(0243)24-7117
郡山営業所 〒963-8061 郡山市富久山町福原字舟橋97-1
TEL(024)991-6622 FAX(024)933-6677



有限会社 ディップス
建設業許可 福島県知事 第28284号

- ・屋内外看板
- ・各種塗装工事
- ・鋼構造物工事

代表取締役 山口好時

職業訓練指導員免許
一級建築塗装技能士
一級鋼橋塗装技能士

〒964-0315 福島県二本松市成田字田畑内 146
TEL: 0243-55-3310 FAX: 0243-55-2921
携帯電話 090-7528-1011
E-mail dips-yamaguchi@muc.biglobe.ne.jp

Life
LIFE CUBE INC.

代表取締役 鈴木 新栄

ライフキューブ株式会社

〒963-8835 福島県郡山市小原田3丁目218-1
Tel.024-983-1520 Fax.024-983-1521
E-mail:fp.sodan@jinsei100lifecube.com

【取扱保険会社】

あいおいニッセイ同和損害保険㈱
三井住友海上あいおい生命保険㈱
ソニー生命保険㈱
メットライフ生命保険㈱

HPIはこちら



株式会社 野地組
Inter Déco Haus 福島

〒969-1404 福島県二本松市油井字赤坂山27
tel 0243-23-0131 fax 0243-23-1296
URL www.nojigumi.net

CONSTRUCTION COMPANY
NOJIGUMI

